

＜アゾラ・クリスタータ (*Azolla cristata* Kaulf.) アカウキクサ科＞



周南市西緑地公園にて 2006年秋に突然発生した(写真12月)



田んぼの中のアゾラ(山口市秋穂)
用水路などにも流れ出ています。



特定外来生物に二次指定された。(2005年2月)
浮遊性の水生シダ。大きさは5cm程度に達することがある。
暖帯～熱帯に分布し、湖沼、水田、溝、水路などに生育する。
日当たりの良い、浅い水中を好む。一部の系統は、5～6月に
孢子嚢をつける。孢子は水によって伝播される。夏期、茎の分
枝(芽)による栄養繁殖が旺盛である。空中窒素の固定を行う
藍藻 *Anabaena azollae* が共生している。

日本在来のアカウキクサ *A.imbricata* とオオアカウキクサ
A.japonica は絶滅危惧種でこれらに対する競合・駆逐の影響が
危惧される。人為的に交雑させると属内での雑種を形成する
ことが確認されており、遺伝的攪乱が危惧されている。なお、
A.cristata という学名は、これまでの *A.microphylla*、
A.mexicana、*A.caroliniana* を統合した新たな分類名である。
(「外来植物の科学成分と雑草性リスク評価」

(独)農業環境技術研究所 2008)

アカウキクサ属の在来種であるオオアカウキクサは絶
滅危惧種で、一部の専門家以外は外来種と区別ができな
い、見た目だけでは判別できないので注意が必要です。

当初は、アイガモ有機農法のため導入されましたが、
鳥の足などについて拡散しています。

(現在のアイガモ農法では別種のものを利用している
ようです。)全国各地でも大繁殖していて、写真のよう

に池全面を覆うくらい増殖し、緑色の時は芝生の続きで歩けるように見えるため、落水する事故が
多発中。この池でも落ちた人がいますので、公園来訪者の安全面を考慮し、防除作業をしていま
す。

※ 絶滅危惧種だったら・・・という意見もありますが、この池にとっては、もともとはいな
かった植物なので、国内移入の外来種といえます。

また、絶滅危惧種のオオアカウキクサは、湧き水が近くにあるなどの水温の低い水田に残存
しており、この池に発生しているものは、外来種 *A. cristata* もしくは交雑種であると考えら
れるようです。(岡山大学教授より)

アゾラによる問題点

- ・ 全面を覆うため、コイなどは息ができなくなる。
- ・ 光が遮断され、水生生物にも影響がある。



アゾラの防除活動

- ・ 現在は市民の方のボランティアで防除活動をしています。
- ・ 取っても取っても増えてきます。1個体でも残っていたら、また夏には満タンに・・・。



←市民の方による防除活動作業



← 池の真ん中にはアクセスできないためボートを使用しての作業。ついでに、外来種のホテイアオイも除去しました。